

平成 30 年度島根県原子力講演会 参加者ご意見・ご感想

Q 8. 本日の講演会の感想などをご自由にお聞かせください。

【浜田会場】

- ・放射性廃棄物のクリアランスレベルの必要性をもっと広報し市民への理解度を高めるようにしたらいいと思います
- ・廃炉については、何とか分かりましたが、「何万年」や「高費用」はわかりないと思います。人類と「原発」は共存できないとの思いは変わりませんので、「原発」に頼った発電はやめてください
- ・講師の方が「マイク」を使ってほしかったです。松江市周辺だけでなく、避難先に西部があるのを初めて知りました。もしもの時は、西部の住民も原子力の知識を持っておく必要を感じました
- ・説明が分かりやすかった
- ・一般講演会を開催していくことが必要であると感じた
- ・大変わかりやすかった
- ・廃炉の具体的なことは理解出来たが、個々に進めるにあたり、どう地域住民を理解説得させるか難しい問題である
- ・廃止措置について理解が深まりました
- ・原子力の放射性廃棄物の処理の考え方を聞いて安心しました

【出雲会場】

- ・日本の廃炉の実績はわずかである上に極小古い型のものに限られ、本格的な廃炉はこれからである。技術開発などの課題や廃棄物処分の問題、周辺環境への廃炉によるリスクなど、益々多くを学びたいと感じた
- ・発電所の安全について話が聞きたかったです（使用済み燃料の処置について等）
- ・批判的な参加者もおおいですが、無関心の方がもっと問題だと思っています。批判的な意見も重要であると感じました
- ・後半の具体的な話の時間がもう少し長い方がさらにわかりやすいと感じた。前半の「廃炉とは？」の話は、一般の者としてはやや理解が難しい気がした
- ・ありえない！想定外！が起こる現実とどう向き合うか。考えている
- ・大変貴重な話、参考になりました。廃炉のための期間が長いのは非常に驚きで

- した。やはり原子力発電以外のエネルギーを期待します
- ・質問者へ質問は1つにするよう指示されたほうがよい。なぜ松江市のみ（各市の避難先）詳しい？
 - ・廃止措置にも文化が必要（文化を創るべき）とのお話は、元気の出る内容でよかった。ありがとうございました
 - ・廃炉に関して安全性は問題ないとは思いますが、燃料棒の出入時の安全性、燃料プールの安全性について、次回教示いただければいいのかも

【松江会場】

- ・とても専門的な話が聞けて良かったです。少し内容が難しく理解が難しい部分もありましたが、全体として理解がすすみました。もう少し具体例があると嬉しいです
- ・事故や被害になった時の話より、ならない様にする対策案の話と深い話が知りたかったです
- ・①廃棄物は六ヶ所村で処分すべきか現地で処分すべきか。ゴミを他県に押し付けるのはそもそもおかしくないか。②クリアランスでできた製品（レンガとか）に対し、原発の廃棄物で作った商品なんて気持ち悪い、という市民感情にどう対処するか。といった点について先生の考えをお聞きしたかったです ※冷房が少し寒かったです
- ・原子工学を勉強してきた訳でもなく、県の説明を聞くだけの情報とか市役所の防災課の会議に出席することで避難の取り組み等を勉強会で知ることによって不安だらけの一市民です
- ・放射性についての様々な知見を知りたいと思った良い機会でした
- ・人の命ほど重たいものはないと、常々思っています。日本もすべてを廃炉にすべく、手だてを祈っています
- ・3.11以前は原発は安価で安全（安心）といわれていたが、3.11以降大きく変わりました。島根県でも、もう一度廃炉（廃止）まで含めた経済的、防災的状況（続けていいのか否か）を県民に中立的立場で周知してもらいたいです
- ・参加対象を考慮した説明で、特に資料が分かりやすかった
- ・廃棄処分が一面においての有価利用など経済の費用面を配慮していることに驚きを感じた
- ・廃炉について理解が高まりました
- ・日本で（JPDRの廃炉で）廃炉の実例があったことは知らなかった。その内容及び外国での実例をもう少し詳しく知りたいと思った
- ・便利性+不安性（原発の）できうるものなら原子力以外の発電装置が望ましい

- このような内容での講演はあまりないので大変参考になった
- とても分かりやすいお話でした。科学的根拠に基づいたぶれのないお話だったと思います
- リスクコミュニケーションで、情報公開して安全に廃炉をしてください
- 基礎的原子核（力）の技術知識の未確認（立）部があると思われる現在、廃棄物処理は不安が多い